

## Max Signal 動物用医薬品 / 抗菌性物質 ELISA テスト

Max Signal 動物用医薬品 / 抗菌性物質シリーズは、おもに、飼育・養殖・養蜂現場で使用され、特に輸入食品中での残留が危惧されている物質等の ELISA テストキットです。

各キットはそれぞれの物質に対し特異的な抗体を使用し、現場における使用薬剤の残留チェックや、ポジティブリストにおける不検出基準物質の多検体同時スクリーニングに最適なツールです。簡便な抽出と約 2 時間弱の ELISA 操作で ppb レベルのスクリーニング検出・定量が可能です。

(製造 : BIOO Scientific Inc. 米国) rev.1708

商品名 Max Signal 残留抗菌性物質 ELISA テストシリーズ  
価格 各種 68,000 円 (税別)



MAX SIGNAL®

保管条件  
冷蔵 2~8°C  
長期保管の場合一部冷凍

クロラムフェニコール	3353BSA013	MQCA (オラキンドックス代)	3353BS1140
フロルフェニコール	3353BS1107	フルメキン	3353BS1059
ストレプトマイシン	3353BS1014	フルオロキノロン	3353BS1024
ストレプトマイシン HONEY	3353BS1053	フルオロキノロン HONEY	3353BSA024
スペクチノマイシン	3353BS1132	エンロフロキサシン	3353BS1017
ゲンタマイシン	3353BS1027	エンロフロキサシン SF1	3353BSA017
ネオマイシン	3353BS1094	オフロキサシン	3353BS1113
エリスロマイシン	3353BS1093	サラフロキサシン	3353BS1208
リンコマイシン	3353BS1206	ジフロキサシン	3353BS1209
タイロシン	3353BS1026	シプロフロキサシン	3353BS1068
チルミコシン	3353BS1120	ノルフロキサシン	3353BS1058
β-ラクタム	3353BS1065	ナリジクス酸	3353BS1204
アモキシシリン	3353BS1114	オキシソリン酸	3353BS1205
セフチオフル	3353BS1084	テトラサイクリン	3353BS1016
セフォペラゾン	3353BS1122	オキシテトラサイクリン	3353BS1081
モネンシン	3353BS1075	クロルテトラサイクリン	3353BS1082
コリスチン	3353BS1095	ドキシサイクリン	3353BS1083
ジメトリダゾール	3353BS1097	サルファ剤	3353BS1056
ドラメクチン	3353BS1104	サルファキノキサリン	3353BS1057
ナイカルバジン	3353BS1076	サルファジアジン	3353BS1033
ニトロイミダゾール	3353BS1108	サルファメタジン	3353BS1011
マラカイトグリーン	3353BS1019	サルファメトキサゾル	3353BS1054
クリスタルバイオレット	3353BS1029	トリメプリム	3353BS1099
フラゾリドン (AOZ)	3353BS1015	アマンタジン	3353BS1123
フラルタドン (AMOZ)	3353BS1020	シプロヘパタジン	3353BS1096
ニトロフラントイン (AHD)	3353BS1070	デキサメタゾン	3353BS1112
ニトロフラゾン (SEM)	3353BS1069	ベンザルコニウム	3353BS1121

製品内容 96 ウェル分割型マイクロプレート、抗体、酵素複合体と希釈液、発色基質液、反応停止液、抽出バッファー濃縮液、洗浄濃縮液、標準液、添加回収試験用標準液

目的・用途 ELISA (競合) 法による肉、魚類、肝臓、腎臓、牛乳、蜂蜜、飼料、血清、尿中の残留抗菌性物質のスクリーニング検出・定量 (適用試料はキットにより異なる)

原理・性能 ELISA (競合) 法

他に必要な試薬器材 マイクロピペット&チップ、抽出用器材 1 式、ボルテックス、遠心分離器、プレートリーダー-450nm 等

## 感度・試料中検出限界

キットには数段階濃度の標準液が添付されており、アッセイの都度同時に測定して標準検量線を描きます。試料中の実際濃度は、前処理による抽出希釈倍率を検量線から得られた濃度に乗じて求めます。

キット (50 音順) (感度 ppb)	標準 LOD	筋肉 肝腎臓	魚類 エビ	乳	卵	飼料	ハチミツ	尿/血清
	肝臓腎臓、エビの感度はそれぞれ筋肉や魚類と異なる場合があります。							
アモキシシリン v01	0.2	2.0	2.0	2.0				2.0
アマンタジン v03	0.5	0.25						
エリスロマイシン v01	0.5	2.5	2.5					2.5
エンロフロキサシン v01	0.1	1.0	1.0	0.5	1.0	1.0	2.0	0.5
エンロフロキサシン SF v04A	0.05		0.5	0.5				
オキシテトラサイクリン v01D	0.15	1.5	1.5	1.5	1.5	24	3.0	
オキソリン酸 v01	0.5	2.5	2.5					
オフロキサシン v01	0.1	0.1	0.1					
クリスタルバイオレット v01T	0.015		0.045			0.1		
クロラムフェニコール v02	0.05	0.025	0.025	0.01	0.05	0.25	0.05 *1	0.04
クロルテトラサイクリン v01D	0.05	0.5	0.5	0.5	0.5	8.0	1.0	
ゲンタマイシン v01	0.25	2.5		2.5	5.0	6.25	6.25	5.0
コリスチン v01	0.5	4.0						
サラフロキサシン v01	0.05	1.0	1.0	0.5	1.0	1.0	1.0	0.5
サルファ剤 v01	0.5	0.25	0.25	2.5	0.25	2.5	0.5	2.5
サルファキノキサリン v01		0.5	0.5	5.0			2.0	5.0
サルファジアジン v02	3.0	2.0		5.0		4.0	1.0	5.0
サルファメタジン v02	0.75	0.125		10.0		1.0	0.25	1.25
サルファメトキサゾール v01	0.5	1.0		2.5			0.5	2.5
ジフロキサシン v01	0.05	1.0	1.0	0.5	1.0	1.0	1.0	0.5
シプロフロキサシン v01	0.35	0.525	0.525	0.7		0.525		0.7
シプロヘプタジン v02	0.03	0.1						0.1
ジメトリダゾール v01-1step	0.5	0.5	0.5				2.0	
ストレプトマイシン v02	0.05	0.5		0.5		1.5	3.0	0.5
ストレプトマイシン HONEY v01	5.0						5.0	
スペクチノマイシン v01	0.05	6.0		1.5				
セフォペラゾン v01	0.25	2.5	2.5	12.5				2.5/5.0
セフチオフル v01	2.0	20	20	20				20/40
タイロシン v01	1.0	1.0		10	2.5	20	2.0	20
チルミコシン v01	0.25	10		10	2.5		2.0	20

キット (50 音順) (感度 ppb)	標準 LOD	筋肉 肝腎臓	魚類 エビ	乳	卵	飼料	ハチミツ	尿/血清
	肝臓腎臓、エビ、血清の感度はそれぞれ筋肉、魚類や尿と異なる場合があります。							
デキサメタゾン v03	0.05	0.05	0.05	0.2				0.25
テトラサイクリン v04E	0.05	1.5	1.5	1.5	1.5	8.0	3.0	
ドキシサイクリン v01	0.05	10		5.0		10	4.0	6.0
ドラメクチン v02	1.5	5.0		1.5		5.0		
トリメプリーム v01	0.015	0.2		10		0.8		0.2
ナリジクス酸 v01	0.5	5.0	5.0					
ナイカルバジン v01-1step	1.0					250,000		
ニトロイミダゾール v01-1step	0.5	0.25	0.25				2.0	
ニトロフラゾン(SEM) v01F	0.025	0.05	0.05	0.05	0.05	0.1	0.05	0.05
ニトロフラントイン(AHD) v02F	0.025	0.05	0.05	0.05	0.05	0.1	0.05	0.05
ネオマイシン v03A	0.25	30	30	30		30	60	40
ノルフロキサシン v01		1.0	1.0	0.5		1.0	2.0	0.5
フラゾリドン(AOZ) v03F	0.02	0.05	0.05	0.05	0.05	0.1	0.05	0.05
フラルタドン(AMOZ) v03F	0.025	0.05	0.05	0.05	0.05	0.1	0.05	0.05
フルオロキノロン v01	0.1	0.5	0.2	0.5	1.0	1.0	1.0	0.5
フルオロキノロン HONEY v02	0.25						2.5	
フルメキン v01		0.5	0.5	1.0		1.0	(v02) 15	1.0
フロルフェニコール v01	0.15	0.1	0.1	0.05	0.2	1.0	0.2	0.2
ベータラクタム v01D	0.08	0.8	0.8	0.8	0.1		2.0	1.6
ベンザルコニウム v01	0.2		1.0	10				
マラカイトグリーン v04			0.08			0.16		
モネンシン v01	1.0					30		
リンコマイシン v02	0.1	1.0		2.0		1.0	4.0	1.0
MQCA(オラキンドックス代謝) v02	0.8	1.0						

※1 クロラムフェニコール:ロイヤルゼリー 0.5ppb

## 交差反応について

キットはそれぞれ検出対象について特異的に反応する抗体を用いておりますが、類縁の物質についても一定の割合で反応・検知します。キットにより、非常に特異的に反応するものや、意図的に広い範囲で検知するものなどがあります。各キットの交差反応率については、別途お問合せください。



MAX SIGNAL®

## 操作方法の例（約1～2時間）

（キットによりステップや時間が異なります。随時改良変更されますので、必ずキット添付の取扱説明書をご参照ください）

### 【抗体固相 タイプ】

1. 適宜ウェルに標準液～試料液を滴下、全ウェルに酵素複合抗原液を滴下し、室温で60分間インキュベート、終了後ウェルを洗浄
2. 発色基質液を滴下し、室温で20分間インキュベート
3. 反応停止液を滴下し、プレートリーダーで吸光度を測定、濃度換算を行う

### 【抗原固相タイプ】

1. 適宜ウェルに標準液～試料液を滴下、全ウェルに抗体液を滴下し、室温で30分間インキュベート、終了後ウェルを洗浄
2. 酵素複合液を滴下し、室温で30分間インキュベート、終了後ウェルを洗浄
3. 発色基質液を滴下し、室温で30分間インキュベート
4. 反応停止液を滴下し、プレートリーダーで吸光度を測定、濃度換算を行う

## 抽出方法の例

（キットおよび試料により異なります。必ずキット添付の取扱説明書をご参照ください）

1. 脂肪を除きホモジナイズした試料に水・溶媒等を加えボルテックス振とうで抽出
2. 遠心分離後（キットによりさらに溶媒抽出や洗浄などを行い）抽出層をバッファー等で希釈

## 試験可能な検体数について

ELISA 法では通常、数段階濃度の標準液を同時に試験して、その濃度と吸光度から標準検量線を描きます。そこに試料液の吸光度をあてはめ、抽出希釈倍率を乗じて実際の濃度を換算します。例えばゼロ標準液と5点の標準液を用いた場合、2連測定で12ウェルを検量線用に使用します。この場合、残りの84ウェルを試料に用いると、2連測定では42検体を試験できます。

3回に分けて使用すると、検量線36ウェルで、試料は60ウェルすなわち30検体を試験できます。

また、ある濃度でのスクリーニング試験として用いる場合には、標準用ウェルを減らして、試験検体数を増やすことも可能です。

## ELISA 用マイクロプレートリーダー Chromate4300

ELISA 測定に必要な 405,450,492,630nm フィルターを装備したフルオートタイプの小型・高精度マイクロプレートリーダー  
お手持の WindowsPC に付属のソフトをインストールしてすぐにご利用いただけます。

標準 4 波長タイプ 定価 360,000 円（税別）

標準 6 波長タイプ 定価 400,000 円（税別） 米国 AwarenessTechnologies 社製



## その他 MaxSignal ホルモン剤 ELISA キット

ベータアゴニスト	ジエチルスチルベストロール	テルブタリン
ボルデノン	マルブテロール	テストステロン
ブロムブテロール	メチルテストステロン	トレンボロン
シマテロール	ナンドロロン	ゼラノール
クレンブテロール	ラクトパミン	ジルパテロール
クロニジン	サルブタモール	